



報道関係 各位

2020年2月27日

四国水族館に龍宮城が出現！？

伝説の水景“龍宮の景”を特別展示

四国水族館（館長：松沢 慶将 住所：香川県綾歌郡宇多津町浜一番丁4）は、2階特別展示室にて、当館最後（70番目）の水景展示となる、伝説の水景「龍宮の景」を特別展示します。

実在する「四国水景」を展示コンセプトとした同館において、「龍宮の景」は唯一、言い伝え（龍宮伝説）をテーマとした水景展示となります。

海を司るとされる「龍宮」と「四国の地」の意外なつながりを、史実や言い伝えを紐解き、三名の女流アーティスト（仏教美術、梵字アート、光の切り絵）によって、当館独自の視点から「龍宮の景」を芸術的に伝える展示を実現しました。



伝説の水景 “龍宮の景” ストーリー

浦島太郎が旅した龍宮城、四国の地（香川県三豊市）にも、浦島太郎の言い伝えがある。

また、各地の海を司る神の宮（神社や寺院）には、
建立の由来を説いた物語に、龍宮が登場するものも少なくない。

仏陀をあらわす梵字（インドの古代語）は、
この「龍宮」から持ち帰ったとされる逸話も残っている。

そして、それは、讃岐の郷土が生んだ偉人 弘法大師・空海により各地に広められ、
四国八十八ヶ所霊場に今も受け継がれている。

悠久の時を経て、伝説の水景「龍宮の景」が四国水族館に現れる。



1.展示の概要

「龍宮の景」は、浦島太郎が経験したであろう物語の世界を、大きく4つのゾーンで再現しています。

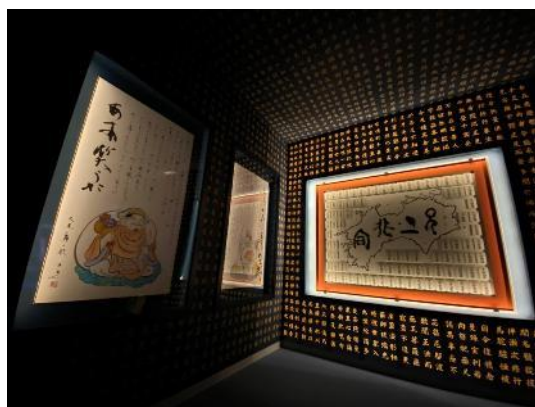
【ZONE1】 海への誘い

ウミガメに導かれ、これから始まる海の世界へのプロローグ。龍宮への誘いを、仏師・仏絵師 松久佳遊氏による優しくダイナミックな作品、香りや照明演出などにより表現しています。



【ZONE2】 龍宮への回廊

書家 柏木白光氏による薬師経に包まれた神聖な空間。経典で描かれた墨絵、そこに浮かび上がる守護仏の梵字。四国にまつわる神々と四国霊場。神と仏の融合による特別なエネルギーを感じながら回廊は龍宮殿へと向かいます。



【ZONE3】 龍宮殿

切り絵作家 酒井敦美氏による彩り豊かな光の切り絵により、煌びやかで神秘的な龍宮の水中世界を表現しています。奥には、龍宮門がそびえ立ち、乙姫の気配を感じる空間です。池田綾子氏によるオリジナルの楽曲が、龍宮の世界観を引き立てます。



【ZONE4】 龍宮の宴

浦島太郎も体験した龍宮の宴。朱に彩られたもてなしの空間です。アートワークや龍宮玉手箱など、様々な体験をお楽しみいただけます。併せて、作品のメイキング映像も放映します。



2.アーティストの紹介

●仏師 松久佳遊（まつひさ かゆう）

仏像彫刻、仏画、截金、それぞれの分野での後継者の育成と、集団による多様な仏像制作を目指し、1962年、「京都仏像彫刻研究所」が松久朋琳と宗琳によって発足。その宗琳の次女として生まれる。

1992年、宗琳の没後に「大佛師 松久宗琳佛所」と改称、松久宗琳佛所所長に就任。姉の松久真や（截金彩師）とともに、朋琳と宗琳の遺志を継ぎ、十数名の仏師の修業をはじめ、全国各地の寺院に奉納する仏像の造立に従事。これまでに、100名を超える弟子たちが、仏師、仏絵師、截金師として全国で活躍。



●書家 柏木白光（かしわぎ びゃっこう）

書道家の三代目として、5歳から書の道に入る。1988年、史上最年少で毎日女流展グランプリ受賞、審査員に就任。ネパールでサンスクリット文字を学ぶなど海外での文字研究を通じ、世界の文字の精神性、宗教性を学ぶ。

その後、日本、そして海外の聖地を巡り、その場所場所で土地のエネルギーを受けながら独特の墨アート作品を創作。また、音楽家とのジョイントで書を揮毫するという公演も多く、国内では、シンセサイザー奏者・喜多郎や笛奏者・籐舎名生らミュージシャンと共演。ハワイ、ロサンゼルス、パリなど海外公演も多数。2009年から、熊野古道をテーマに聖地を巡り、日本の伝統、精神性を表現した創作活動を行っている。伊勢神宮、明治神宮、東大寺など多数の神社や仏閣に作品を奉納している。



●光の切り絵作家 酒井敦美（さかい あつみ）

幼い頃から、お絵かきや工作が大好きで、その感覚のまま今も創作を楽しみ取り組んでいる。

大学卒業後、舞台美術としての影絵（切り絵）の制作に10年取り組み、その中で、“光”と“切り絵”とを組み合わせた表現に没頭し、様々な光の切り絵を見つける。

作品には、「一画二驚（いちがにきょう）」と名付けた、一枚の絵が光の当て方で2つの表情に変化する切り絵や、動きとストーリーを加えた絵本のような映像作品「うごく絵本」。また、砂浜や雪原やお城などの光の切り絵をキャンパスに投影し、色鮮やかな世界に染め上げる「幻灯空間」などがあり、独自性が高い作品を数多く発表している。





楽曲提供 池田綾子（いけだ あやこ）

日本語の「響き」を大切にした歌詞と旋律、クラシックの発声を基調とした独自の歌声を持つシンガーソングライター。心の音を紡ぐような音楽世界と、透き通る声の音色は、ジャンルを超えて数々のコラボレーションを生み続けている。

TV、CM、映画、アーティストへの楽曲提供も数多く、TV 番組やドラマのテーマソングなどにも数多く発表している。



3.龍宮の景 企画協力

「龍宮の景」に展示しております作品「同行二人～四国八十八ヶ所霊場～」中の“同行（どうぎょう）二人（ににん）”の文字は、四国八十八ヶ所霊場会大林会長より御献言を頂戴し、書家 柏木白光氏が揮毫。

また、各寺院ご本尊様の梵字照合は、四国八十八ヶ所霊場寺院にご協力頂きました。なお、同作品は、弘法大師・空海ゆかりの善通寺並びに四国八十八ヶ所霊場会のご協力を得て、同寺境内で制作されました。

<本件に関するお問い合わせ>

四国水族館 担当：片山、山本

TEL：0877-49-4590 FAX：0877-49-4600 Email：koho@shikoku-aquarium.jp

取材を希望される場合は事前にご連絡の上、別紙取材申込書の提出を
(FAX または Email で) 3月2日(月) 17:00 までをお願いいたします。

当日を含め以降の連絡先 携帯：090-9550-1248